

公益財団法人 グルー・バンクロフト基金

2025年度事業報告

<A. 奨学生の選考・留学支援>

1. 2026年度派遣奨学生募集について

2025年6月に募集要項をホームページに公開後、全国の高校並びに海外大学進学塾併せて243箇所へ、基金の紹介パンフレット、募集要項とポスターの三点を郵送した。基金奨学生と気軽に話ができるオープンハウスの実施、募集要項説明会、提携大学在校生並びにアドミッションオフィサーによる大学説明会などの広報活動を行い、延べ600名以上の中高生、保護者、教職員の参加があった。以下は、事務局または広報インターンによる奨学生募集関連のイベント実施履歴である。その他にも、有志による母校や近隣校での講演活動、アドミッションオフィサーの来日に伴う大学説明会を行った。

出願システムは過去4年と同様に株式会社Beein（2024年10月に株式会社ユニバーサル・サポート・システムよりサービス譲渡）のネット出願を使用した。卒業生の ████████ 氏（DePauw '20、██████ 勤務）が中心となり、昨年と同様に、推薦状や調査書を担当者がウェブ上でアップロードできるシステム並びに書類審査員が出願者情報をまとめて閲覧できるシステムを運営した。

基金奨学生への応募者数は昨年の79名から増加し、91名であった。内3名が一条校在籍に関する応募資格を満たさなかったため有効応募者数は88名となった。

【書類選考 一次：9月14日(日)、15日(月・祝) 二次：9月23日(火・祝)】

- 第一次書類選考委員：前田正吾代表理事（Wesleyan '79）、野水彩子理事（Carleton '91）、足立淳一郎業務執行理事（Knox '81）北嶋友香理事（DePauw '17）
- 第二次書類選考委員：前田正吾代表理事（Wesleyan '79）、██████ 氏（Knox '93）、██████ 理事（Bowdoin '95）、██████ 氏（Lake Forest '10）

【面接試験 10月5日(日) 国際文化会館にて3グループに分けて実施】

- 奨学金1 & 奨学金4 面接委員：中原秀人東京倶楽部文化活動委員、久野明子評議員、██████ 理事（Hamilton '86）、██████ 理事（Smith '05）
- 奨学金2 面接委員：野水彩子理事（Carleton '91）、██████ 理事（Hamilton '92）、██████ 氏（Lake Forest '05）、██████ 理事（DePauw '11）
- 奨学金3 面接委員：足立淳一郎業務執行理事（Knox '81）、██████ 氏（Earlham '07）、██████ 氏（Lake Forest '10）、██████ 氏（Pomona '18）

2. 2026年度派遣奨学生選考合格者

名前	進学先予定	出身校	基金奨学金 (年・米ドル)	大学からの奨学金 (年・米ドル)
██████	Harvey Mudd	UWC ISAK	80,000	0
██████	Smith	渋谷教育学園幕張高等学校	65,000	24,856
██████	Carleton	渋谷教育学園幕張高等学校	15,000	76,600

名前	進学先予定	出身校	基金奨学金 (年・米ドル)	大学からの奨学金 (年・米ドル)
	DePauw	広島県立広島叡智学園高等学校	15,000	55,000
	Grinnell	さいたま市立大宮国際中等教育学校	15,000	73,582
	Union	東京都立国際高等学校	15,000	73,935
	Knox	S高等学校/ KADOKAWAドワンゴ情報工科学院高等部	10,000	50,000
	Knox	埼玉県立和光国際高等学校	10,000	61,998
	Lake Forest	東京学芸大学附属高等学校	10,000	48,000
	OWU	女子学院高等学校	0	55,416
	OWU	大阪女学院高等学校	0	55,416
	Wooster	桜丘高等学校	0	50,000

<B. 広報活動>

「Life After College」をテーマに、2028年の百周年に向けて基金生同士をつなぐ取り組みを行ったほか、卒業生の声の発信も行った。今年度は20名（内、10名は新奨学生）の広報インターンが参加した。

活動内容	結果
募集要項説明会（2025年6月15日） （提携大学学生による大学説明会を含む）	登録者127名。 ビデオ
第3回捨松スカラシップ総会（2025年7月6日）	登録者43名。セブンシスターズ在校生・卒業生によるパネルディスカッションを実施
歓送迎会（2025年7月7日）	登録者49名。 卒業生向けビデオ
オープンハウス（全3回）	登録者（延べ）76名。各回満足度4.5/5.0以上
ソーシャルメディア	全て2026年4月21日時点 YouTube：登録者数711名（76本）→952名（174本） Instagram：フォロワー数546名→685名 X：フォロワー数1,600名→1,644名 Facebook：フォロワー数1,022名→1,043名
ポスター郵送	学校や海外大学進学塾等計243箇所
Tシャツ作成・配布	Class of 2025～2029全員及びITチーム荒木氏他一部寄付者へ配布

活動内容	結果
ステッカー作成・配布	現役生・卒業生並びに基金イベント参加者向け
大学合同説明会（8月18日～22日）	16校のアドミッションスタッフによる説明 登録者（延べ）253名
ウェブサイト改訂	受験生向けページ、コスモス会ページ並びに基金生 支援ページの刷新、基金生の声を専攻別に表示でき るよう設定、など

<C. 募金活動>

受け取り寄付金は、予算の7,100万円を大きく上回り、約2億3815万円となった。これは一つの遺贈による寄付が大きく、これを除けば予算を下回る結果となった。長年支援をいただいている大口の寄付者からは昨年度と同額の寄付をいただいた。捨松スカラシップの寄付金は1,745万円となり、前年度の4,099万円から大幅な減少となった。2026年1月18日には支援者懇親会を執り行った。また提携大学の卒業生から今年度から8年間に渡り計50万ドルの寄付のプレッジをいただいた。

<D. 資産運用>

寄付金の増加を受け、資産運用額は大幅に増加し、増加分は今後のドル建て奨学金の支払いに備えるために主にドル債券に配分した。期末の資産配分は以下の通りである。リスク資産であるREIT、インフラファンドの買い増しを行ったが配分比率は低下している。

資産種別	配分比率	
	今期	前期
円預金	6.5%	8.5%
円債	16.3%	23.2%
ドル預金・MMF	14.3%	20.7%
ドル債券	57.2%	40.7%
REIT等	5.7%	6.9%
	100.0%	100.0%
ドル比率	71.5%	61.4%
資産合計(百万円)	545	384

<E. 事務局の活動>

2025年度の事務局は前年度と同様前田業務執行理事（2025年6月に代表理事に就任）が事務局長を兼務し、二名の事務局員が補佐する体制であった。西澤さんが経理担当、北嶋理事が学生支援、選考試験の準備、執行を主に担当した。

1. 奨学金の支払い、奨学生選考プロセスの支援
 - a. 奨学生30名に対して110,251,826円（\$749,115）の奨学金の送金を行った。

- b. 選考プロセスが円滑に行われるよう会場の予約、審査員との打ち合わせの場を設定した。出願者からの質問に対応した
2. 選抜試験合格者の出願サポート
 - a. 新奨学生12名の出願にあたりアドバイザーを募集し、新奨学生に対してエッセイ指導やその他出願に関するアドバイスをを行った。合計約115,000円を報酬として支払った
 - b. 奨学生の推薦状を作成し出願先大学に送付した。合格者と出願先大学の先輩小学生とのコミュニケーションについて支援を行った。
3. 新奨学生・在学生の支援
 - a. 新奨学生オリエンテーションを長野県軽井沢市で行った
 - b. 在学生には年2回報告書および成績表を提出してもらい、問題を抱えていないかをチェックし、適宜対応した。理事会・評議員会に報告した
 - c. 5月から6月にかけて卒業する奨学生のインタビューを行い、留学期間の振り返りをした
 - d. 12月から1月にかけて2025年度派遣奨学生（1年生）のインタビューを行い、新環境で生活面・学業面で問題がないかチェックを行った。同時期に秋卒業の奨学生のインタビューも実施した。
 - e. 足立理事が大学を訪問し在学生の状況をチェックした。問題を抱えている学生や大学の教職員には優先的に対面で会うようにした

2025年度決算

主要点

- 対予算では支払い奨学金が300万円超過し1億1000万円となったが、捨松二期生の支払いを米国法人がすると予算上はしていたが送金の都合等の配慮から、当基金が行うことに変更したことが主な要因である。その他の経費についてはおおむね予算通りであった。
- 対前年比では、支払い奨学金が637万円減少しているが主な要因は円からの換算レートが前期よりも円高で執行できたことによる。ドルベースでは、749,000ドルと前年比ほぼ横ばい（900ドル弱の減少）であった。
- 経常費用は1億2,694万円となり、支払い奨学金の減少額とほぼ同じ前年比628万円減少した。管理費は前年度比14万円減少し、1,185万円となり経常費用に占める管理費率は9.37%と前年度の9.03%から若干上昇した。
- 遺贈による多額の寄付により正味財産は大幅に増加し5億4,528万円となったが、2027年度より（募集は2026年度）奨学金の増額を行い2033年度までに約2,700万ドル、160円/\$で換算すると約4億3300万円を奨学金の支払いに充てる計画である。尚、今期末の保有ドル資産額は3億9,000万円である。2033年度までに金利収入4,400万円を予定している。